

電報を打つた夫れから越後長岡の資

[illegible]

其のたにふやうしや
百枚其他の入場者をも約四千五六百

らぬ細川侯の家令箕浦氏で第六室の
庶室道明氏簪桐の花白五十兩を買
約し

○侯爵の名儀でなく私の名
でと嫁約金を置いて去る夫れから
引續いて洋館の風見景雄・木村義男
氏を代へて國を商賣する之なる人々
賣約の札張せ也得意氣に猶も其槍を

妻あり夫ある人々が、當りはそれなり
の事柄となる分けの、當りはそれなり
まで行つて夫婦同様に事業を行つてゐる
が、また此處つて世帯を持つてゐる安堵さ
で、さういふことゝなつてゐる。

◆はどうしたら能き
るか三村正六氏の説

男には少し内氣な細君を配すると
男の方がますます快活になりまし
反對に心の弱い氣の小さい細君はだ
ん／＼氣さくに世間的になるもので
す。又

○漁場など一行くと女が男より
健かによく分る


的になるもので
に偉い^{えらい}か細君^{さいくん}が非常^{ひじょう}に

な心の女であるからで
を感化して出来たもの
りませぬ、天の配劑は
何かによく分る

◆同じ職業に就く

るといつたやう
、これも妻が夫
が要するに一家
最初のうちはいゝかど
未始終は違つてゐる
決して得られません

[illegible]

| | | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|---|
| <p>內科</p> <p>小兒科</p> <p>院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄</p> <p>電話六二三番</p> <p>村上病院</p> | <p>勸業債券月賦濟崩販賣總代理店主募集</p> <p>今回當會社ハ日本商事社ヲ買収シ業務ノ擴張ヲナス</p> <p>代理店ノ待遇有給歩合支給</p> <p>代店員ノ待遇有給歩合支給</p> <p>保證書希望送附又ハ特定托付金</p> <p>聯合方法 願書希冀送附又ハ面談</p> <p>神田區東松町六番地</p> <p>電話神田查二五七番</p> <p>資本金五萬圓</p> <p>日本豐盛株式會社</p> | <p>カーバイド</p> <p>アルコール</p> <p>燒酎</p> <p>工業用硫酸</p> <p>釜山辨天町</p> <p>福榮商會</p> <p>電話長三三九 辰城二二九</p> | <p>買鑛開始</p> <p>今般當所製鐵原料として磁鐵鑛及赤鐵鑛の買入れを開始致候間壹年六百噸以上の豫約御希望の方は見本御送附の上產地等御申越相成候は、詳細御打合可致候</p> <p>黄海道兼二浦</p> <p>三菱兼二浦製鐵所</p> |  <p>致富之策——商業——送呈</p> <p>大阪堂島米穀取引所仲買人</p> <p>今片山政藏商店</p> <p>多少仕立可 す御用命 程奉願上候</p> <p>堂島濱通一屯 電話長六四三三 辰城三三三三</p> | <p>飛行大會日明</p> <p>見よ!!見よ!!!</p> <p>鳥人の訣別飛行</p> <p>訣別飛行!!!</p> <p>は愈明十五日</p> <p>來れ!!來れ!!!</p> <p>龍山練兵場へ</p> <p>注意</p> <p>◎飛行は十五日午後二時〇〇團體個人共座席は早い方が勝ち</p> <p>◎入場券は當日の入口にて發賣</p> <p>スミスは來れり</p> | <p>六十元新債券輕便賣出し</p> <p>只の六十圓の金で十の債券を買へて割増金二千圓千圓五百圓のくじを樂しむ法實數有銀切</p> <p>●代金塗附あれば即時領受する●販賣券二枚御送附次第遊星</p> <p>日本勸業銀行</p> <p>勸業債券販賣所</p> <p>(振替東京三三三三)</p> |
|---|--|---|---|---|---|---|

京城日報

日五十月九年六正大
(頁八七五第を刊)

南鮮に於ける文祿 慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

文祿慶長役の築城

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

配置の状況

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

第一回征伐

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

領土防衛

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

征伐の成果

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

歴史上の遺蹟

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

長江を憶ふ

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

大正の秋如何

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

日銀討伐

にして、此の書は、大守の管轄するもの

食糧は担布を以て充補し更に大なる

し英艦船なるをい徒泊中の汽船

風雨強かるべし。△何氣屋の村區清州
神主示度土有五千七百。進行方向
▲本郷

(東米人) 七十三人
八力部 一萬九百九十二個
日下

四のみに就いて論告すべしと前提し
 源吉と七太郎兩人の關係より説き起
 し第一の白目が源吉の頭骨なるこ
 とは其の特殊なる「茄子舌」、金剛の疵
 跡及び後頭骨の突起と醫師の鑑定に
 見るも動かすべからざる證據に非ず
 や然らば何故源吉が行衛不明となり
 僅少なる觀察に由つて其の感想を
 得たるのみなり此
 中樹枝の武備の如きも内地に其上
 に過かに完備し特に鍾乳小樹枝の如
 〇稍々贅澤に過ぎはせむ

のがある。時川の都合上授業を實地に見るを得ざりしが其の成績品を観に學科の點に於て内地の小學校に遜色なきを窺ひ知る事を得た。附所に置かれたる學生が何れも元氣向上に顯はれたるは特に吾々の注意を惹いた。前にも一寸述べた序であるが敢て

名を呼すよしとせん。其の生れたる名を心から生れた大體、在野教育家からして常に元氣の

不斷の勉強を

朽に致らしめざる一座にば成られ子孫に放浪の一意見は述べて見たい

在の前後
 にも、確かに
 に充ち
 へなけれ
 眼に就て
 思ふは
 省の幾ひは茲に在ると信じます。茲

生なりしが卒業後、渡鮮し

子が高麗臨海時代に教育したる

施してある。釜山の坂田文吉氏に

へ向見るとは、亦此の秘密の一寸可

知なり。

〇方面を換へて、觀察家と

し、が斯種の人物、亦吾人に許らず、放

然に在ると信じます。茲

朝鮮服好きでこんども冬の周水から
ツボンまで一瞬ひづつた▲をそれに
内地の上上座は朝鮮の古い琴を
求めてボナンノ目と輝きながら上
ろこんでゐる▲をそして日本のは雑で
ある朝鮮のはほんとの琴である……
ボナンノ!!

金光苑
春山田
京城
京城
電
太平町
朝鮮小
左横小

自働車 金片道四回
●泰川發前八時
●春川發前八時
●松田發前八時
●男

物定量分拆

坂元分拆所

小島捕用
 カスミ
 其外雁鷺兎網等種
 鐵工授與され朝鮮
 の初級工に於ける最
 光榮を待たるなり
 常店へ移
 是へ勿
 問何分

網 二棚三間
四五六間
具 魚 京成永樂町
電話 高城四三二番
備商會

